

# 一般国道8号 <sup>へんてん</sup> 弁天ICの完成供用 新潟県新潟市

## 1. 事業の概要

弁天IC事業は、一般国道8号新潟バイパスの渋滞緩和を目的として市道弁天線との交差点に新しくIC（黒埼方面のみアクセス可能）を新設する事業です。

## 2. 事業の経緯

本事業は、平成15年度に用地買収に着手、平成16年度に工事着手しています。

## 3. 平成17年度事業の内容

平成17年度は、改良及び舗装工事を推進し、完成供用を開始する予定です。新潟バイパスの黒埼方面と市道弁天線の乗り降りが可能となり、<sup>しちくやま</sup>紫竹山IC、<sup>さくらぎ</sup>桜木ICの混雑が緩和されます。



平成17年完成供用に向け整備の進む弁天IC

にいがたむらまつみかわ  
**主要地方道 新潟村松三川線(空港アクセス道路)の完成**  
つしまや したやま  
**新潟県新潟市津島屋～下山**

1. 事業の概要

主要地方道新潟村松三川線は、新潟市域において、日本海東北自動車道新潟空港 IC から一般国道7号新新バイパス一日市 IC を経由し新潟空港へ至る路線で、新潟空港へのアクセス道路として位置づけられています。

このうち、新潟空港 IC から新潟市津島屋間については、既に4車線で供用しており、本事業は、残る新潟市津島屋から下山間の約1.8kmを整備するものです。

2. 事業の経緯

平成10年度に事業着手し、平成13年度に津島屋地区の延長約0.8kmを暫定2車線で供用しています。

3. 平成17年度事業の内容

平成17年度は、下山地区の道路及び舗装工事を促進し、津島屋～下山間の全線について完成4車線で供用開始する予定です。

本事業の完成により、日本海東北自動車道新潟空港 IC と新潟空港が10分以内で結ばれることとなります。

至：新潟市街地  
←



至：新発田市  
→

至：新潟空港 IC  
↙



# 一般国道403号 大白倉バイパスの部分供用

新潟県長岡市小国町三桶～十日町市岩瀬

## 1. 事業の概要

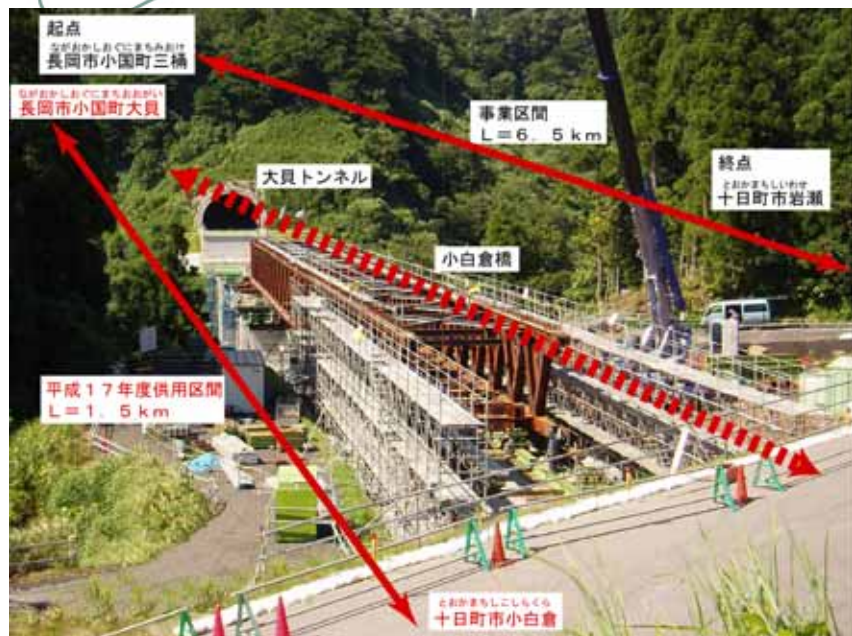
一般国道403号は、新潟県新潟市を起点とし、長野県松本市に至る幹線道路です。大白倉バイパスは、長岡市と十日町市を連絡する一般国道403号の幅員狭小、線形不良区間の解消を目的とした延長約6.5kmの事業です。

## 2. 事業の経緯

昭和61年度に事業着手し、同年度に用地買収、昭和62年度に工事に着手しており、これまでに延長約2.9kmについて完成供用しています。

## 3. 平成17年度事業の内容

平成17年度は、橋梁及びトンネル工事を促進し、長岡市小国町大貝～十日町市小白倉間の延長約1.5kmについて、完成2車線で供用開始する予定です。



供用予定の小白倉橋と大貝トンネル

# 一般国道 8 号 <sup>しもだ</sup> 下田立体高架橋 ( <sup>とやまたかおか</sup> 富山高岡バイパス ) の 完成供用 富山県 <sup>たかおか</sup> 高岡市

## 1 . 事業の概要

<sup>とやまたかおか</sup> 富山高岡バイパスは、一般国道 8 号の <sup>とやま</sup> 富山市から <sup>たかおか</sup> 高岡市間の交通渋滞の緩和を目的とする <sup>とやま きんせんじ</sup> 富山県富山市金泉寺から <sup>たかおか よつや</sup> 高岡市四屋に至る延長約 24.8 km の道路です。

## 2 . 事業の経緯

本事業は、昭和 41 年度に事業着手し、昭和 62 年度までに全線供用を行っています。また、平成 10 年度より、主要渋滞ポイントである <sup>しもだ</sup> 下田交差点の立体化を図るべく用地買収・改良工事を推進しており、平成 14 年度までに用地買収を完了しています。

## 3 . 平成 17 年度事業の内容

平成 17 年度は、<sup>しもだ</sup> 下田交差点の立体化に向け、下田立体高架橋 ( L = 591 m ) の上部工事及び舗装工事を推進し、完成 4 車線で供用を開始します。これにより、ピーク時における下田交差点の渋滞 ( 富山方面 13 分、金沢方面 7 分 ) が解消されます。



平成 17 年度完成に向け整備の進む下田立体高架橋



# 一般国道304号 <sup>たかくぼ</sup>高窪バイパスの完成

富山県<sup>なんと</sup>南砺市<sup>たかくぼ</sup>高窪

## 1. 事業の概要

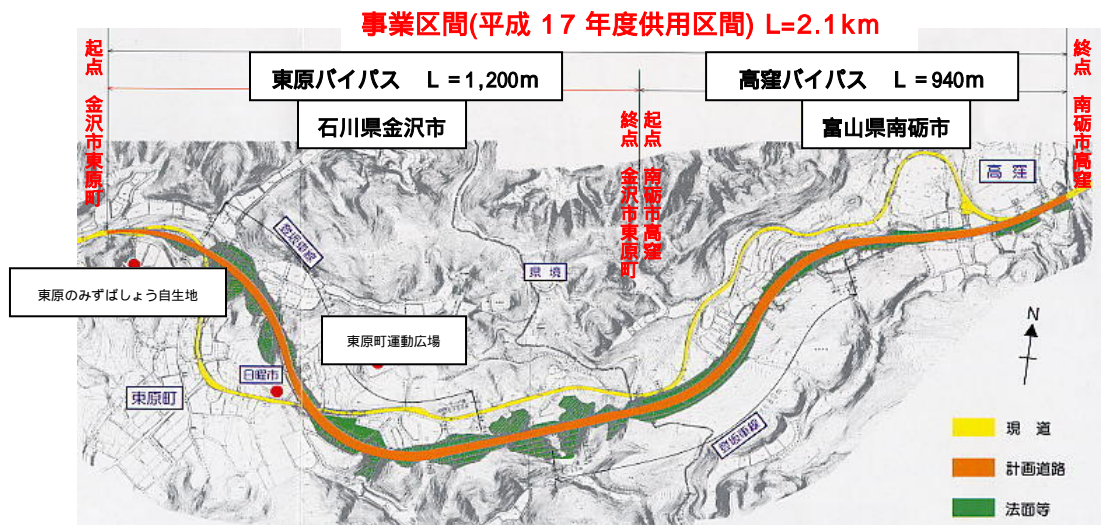
一般国道304号は、石川県金沢市を起点とし、富山県<sup>なんと</sup>南砺市に至る幹線道路です。  
高窪バイパスは、東原バイパス（石川県施行）とともに県境部の未改良、急勾配、急カーブ区間の解消を目的とした延長約0.9km（石川県側約1.2kmとあわせて全長約2.1km）の事業です。

## 2. 事業の経緯

平成13年度に事業着手し、同年度に用地買収、平成14年度に工事に着手しています。

## 3. 平成17年度事業の内容

平成17年度は、舗装工事を促進し、全線を完成2車線で供用開始する予定です。



# 一般国道415号 富山拡幅の促進

## 富山県富山市<sup>よかたあらや</sup>四方荒屋～<sup>ちはらぎ</sup>千原崎

### 1. 事業の概要

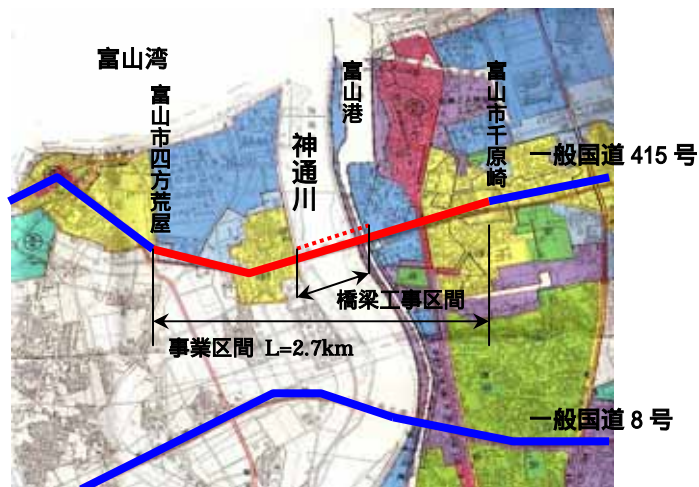
一般国道415号は、石川県<sup>はくい</sup>羽咋市を起点とし、富山県富山市に至る幹線道路です。富山拡幅は、富山市の環状道路を形成するとともに、富山県北部、特に神通川渡河における渋滞を緩和し、安全で円滑な交通の確保と物流の効率化を図ることを目的とした延長約2.7kmの事業です。

### 2. 事業の経緯

昭和61年度に事業着手し、平成13年度までに橋梁部（<sup>はきうら</sup>萩浦橋）を除き4車線で供用しています。

### 3. 平成17年度事業の内容

平成17年度は、萩浦橋（L=523m）の上部工事を促進する予定です。





# 一般国道470号 穴水道路の全線供用

石川県輪島市～鳳至郡穴水町

## 1. 事業の概要

能越自動車道（石川県輪島市～富山県砺波市・延長約100km）は、高規格幹線道路の一般国道の自動車専用道路として整備を進めており、能登地域・富山県西部地域と三大都市圏との交流を促進し、産業・経済・文化の発展に大きく寄与する道路です。

穴水道路は、「能越自動車道」の一部として、石川県輪島市三井町（仮称：能登空港IC）から穴水町此木（仮称：此木IC）に至る延長約6.2kmの事業です。

## 2. 事業の経緯

本事業は、能登空港（平成15年7月開港）へのアクセス強化を目的として、平成9年度に事業着手し、平成11年度に用地買収、平成12年度に工事に着手しています。

## 3. 平成17年度事業の内容

平成17年度は、改良、橋梁及び舗装工事を推進し、無料で全線供用を開始する予定です。穴水道路が供用されることにより、此木ICから能登空港までの所要時間が14分から10分と約3分の2に短縮します。



平成17年度の全線供用に向け工事が進む穴水道路（此木IC周辺）

# 一般国道 8 号 金沢東部環状道路の全線供用 石川県金沢市

## 1. 事業の概要

金沢東部環状道路は、金沢市内における交通渋滞の緩和を目的とした、石川県金沢市今町から同市鈴見台に至る延長約 9.4 km の事業です。

## 2. 事業の経緯

昭和 62 年度に事業着手し、昭和 63 年度に用地買収、平成 3 年度に工事着手しています。

また、平成 7 年 4 月に地域高規格道路「金沢外環状道路」の一部として整備区間に指定、平成 13 年度に金沢市今町から梅田町間の延長約 1.3 km を供用、平成 14 年度に東長江町から鈴見台間の延長約 2.4 km を暫定 2 車線供用、平成 15 年度に梅田町から月浦町(金沢森本 IC)間の延長約 2.1 km を暫定 2 車線供用し、北陸自動車道と連結しています。

## 3. 平成 17 年度事業の内容

平成 17 年度は残る未供用区間である、金沢市月浦町(金沢森本 IC)から同市東長江町間(L = 3.6 km)のトンネルを含む改良及び舗装工事を推進し、全線の供用を開始する予定です。なお、金沢東部環状道路の全線開通により一般国道 159 号の渋滞損失を年間約 20 億円削減できます。



平成 17 年度全線供用に向け整備の進む金沢東部環状道路  
(津幡町方面から金沢市街地方面を望む)



# 一般国道304号 <sup>ひがしはら</sup>東原バイパスの完成

## 石川県金沢市 <sup>ひがしはらまち</sup>東原町

### 1. 事業の概要

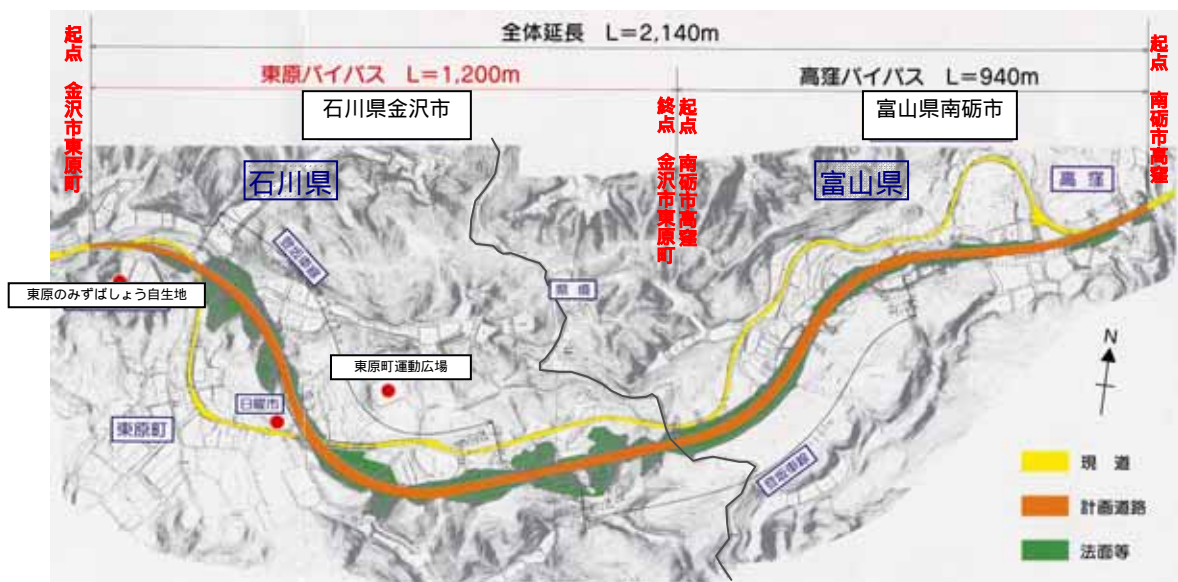
一般国道304号は、石川県金沢市を起点とし、富山県南砺市<sup>なんとし</sup>に至る幹線道路です。  
 東原バイパスは、高窪<sup>たかくぼ</sup>バイパス（富山県施行）とともに県境部の未改良、急勾配、急カーブ区間の解消を目的とした延長約1.2km（富山県側約0.9kmとあわせて全長約2.1km）の事業です。

### 2. 事業の経緯

平成13年度に事業着手し、同年度に用地買収、平成14年度に工事に着手しています。

### 3. 平成17年度事業の内容

平成17年度は、舗装工事を促進し、全線を完成2車線で供用開始する予定です。



# 主要地方道 ななつかうのけ 七塚宇ノ気線つもうらしらま (月浦白尾IC連絡道路)の完成

## 石川県かほく市白尾しろお ~ 内日角うちひすみ

### 1. 事業の概要

主要地方道七塚宇ノ気線は、北陸自動車道かなざわもりもと金沢森本ICと能登有料道路白尾ICを結ぶ地域高規格道路「月浦白尾IC連絡道路」の一部を構成し、直轄事業の津幡バイパス及び金沢東部環状道路とともに「金沢能登2時間圏構想」を実現する路線です。

### 2. 事業の経緯

平成9年度に事業着手し、平成16年3月に直轄事業の津幡バイパス及び金沢東部環状道路の供用に合わせて、延長約0.9kmを部分供用しています。

### 3. 平成17年度事業の内容

平成17年度は、白尾ICの立体化工事を完了し、事業の完成を図る予定です。  
本事業の完成により、北陸自動車道と能登有料道路（能登方面）がノンストップで結ばれることとなります。

至：輪島



至：内灘

事業区間の全景



至：内灘

至：輪島

至：金沢森本IC

白尾IC完成予想図



# 新潟みなとトンネルの全線供用

新潟港：新潟県新潟市

## 1. 事業の概要

### 1) 目的

新潟みなとトンネルは、信濃川左岸の入船地区から水底トンネル850mを経て右岸国道113号線に至る全長3,260mの臨港道路です。臨港部の交通の円滑化を図るとともに、新潟西港～空港～東港の物流機能の連携強化を図ります。

### 2) 諸元

計画延長：約3,260m

車線数：往復分離4車線

1車線の幅員：3.25m

最急縦断勾配：4.0%以下

設計速度：60km/h

## 2. 事業の経緯

昭和62年度に事業に着手し、平成14年5月19日に全体計画延長約3.3kmのうちトンネル部分を含む約2.0kmが開通しました。平成17年度開通に向け、残る約1.3km区間の整備を進めています。

## 3. 平成17年度事業の内容

平成17年度の全線供用に向け整備推進を図ります。



# 多目的国際ターミナル（耐震強化岸壁）に着手

## 直江津港：新潟県上越市

### 1. 事業の概要

#### 1) 目的

直江津港は昭和 26 年に重要港湾に指定され、新潟県の上越・中越地域及び長野県北部地域を背後圏域とした流通拠点として、佐渡観光等の玄関口として重要な役割を果たしています。

直江津港では、コンテナ貨物やリサイクル材の取扱量の増加と船舶の大型化に対応するため、既存岸壁の改良（増深）を行います。

また、地震時に対応し海上輸送が可能となる「耐震強化岸壁」が計画されているものの未だ未着工の状況であり、新潟県南西部（上越地方）は大規模地震の切迫性が高い地域となっていること、また平成 16 年 10 月に発生した新潟県中越地震により輸送路・防災拠点の早急な対策が迫られていることから既存岸壁の増深に合わせ耐震強化岸壁の整備を行います。

#### 2) 全体計画

岸壁(-10m)(改良)	平成 17 年度～平成 19 年度
泊地(-10m)	平成 19 年度

### 2. 事業の経緯

平成 17 年度：土質調査・設計

平成 19 年度：完成予定

### 3. 平成 17 年度事業の内容

土質調査、設計を実施します。



直江津港（東ふ頭地区）の現況



# 多目的国際ターミナル[岸壁(-14m)]の部分完成

伏木富山港：富山県高岡市

## 1. 事業の概要

伏木富山港伏木地区に、港湾物流コストを削減するとともに船舶の大型化に対応するため、多目的国際ターミナルの整備を図ります。

## 2. 事業の経緯

河口港の宿命である航路埋没からの脱却と船舶の大型化への対応および危険物取扱施設の市街地からの分離を図るため平成元年度から外港建設に着手しています。

平成12年度より、伏木地区背後に立地している企業の陸送距離短縮による物流コスト削減および船舶の大型化に対応するため、多目的国際ターミナルの整備を進めています。

平成17年度末からの多目的国際ターミナルの供用開始を目指し、岸壁前面泊地を水深-12mでの暫定完成を図ります。

## 3. 平成17年度事業の内容

岸壁(-14m)および泊地の整備を推進します。



伏木富山港（伏木地区）の現況（平成16年3月撮影）

# 臨港道路(富山新港東西線)の整備推進

～新湊大橋(仮称)～

伏木富山港：富山県新湊市

## 1. 事業の概要

### 1) 目的

伏木富山港新湊地区において港口部の東西を結び、港湾関連交通の円滑な処理を図ります。

### 2) 諸元

計画延長：約3,600m

主橋梁部形式：5径間連続複合斜張橋

設計速度：50km/h

車線数：2車線(3.5m×2車線)

桁下空間：最高水面+4.7m

最急縦断勾配：4.0%以下

## 2. 事業の経緯

平成9年度より各種調査を実施し、経済性、利便性および技術的課題についての検討を行い、平成14年度に現地着手しています。

## 3. 平成17年度事業の内容

東西アプローチ部下部及び東西側径間下部、東西主塔下部工等の整備推進を図ります。



伏木富山港(新湊地区)新湊大橋(仮称) イメージパース



# 漂砂対策と航路泊地の整備推進

金沢港：石川県金沢市

## 1. 事業の概要

金沢港では、沿岸漂砂により港内の水深が浅くなるため、毎年埋没浚渫を実施していますが、これを抑制するため、防砂堤の整備推進を図ります。

また、入港船舶の大型化が急速に進んでいる一方、現状の航路幅が狭いため、特に冬期において大型船の操船が難しい状況となっています。このため、航路を拡幅し、大型船舶の航行安全の確保を図ります。

## 2. 事業の経緯

防砂堤は昭和 63 年に事業着手、大浜航路(-10m)は平成 12 年度に事業着手し、平成 20 年代前半の完成を目指して整備を推進しています。

## 3. 平成 17 年度事業の内容

防砂堤は基礎工、本体工、堤体工を実施し、整備推進を図ります。また、大浜航路(-10m)は航路拡幅部の浚渫を行い、その土砂は金沢港金石地区で整備を進めている廃棄物埋立護岸内に投入します。



金沢港の現況（平成 13 年 1 1 月撮影）

# 多目的国際ターミナル[岸壁(-14m)(2)]の整備推進

敦賀港：福井県敦賀市

## 1. 事業の概要

敦賀港への入港船舶の大型化と増大する港湾貨物に対処するため、鞠山南地区に大型岸壁を整備して港湾物流コストの削減を図ります。

## 2. 事業の経緯

平成 8 年度より事業着手、平成 15 年度に地盤改良工（サトコパクソパ工法）が完了し、平成 14 年度よりケーソンの製作・据付を推進し、平成 19 年度の完成を目指しています。

## 3. 平成 17 年度事業の内容

基礎工及び本体工（ケーソン製作、据付）等を実施し、引き続き整備推進を図ります。



敦賀港(鞠山南地区)多目的国際ターミナル イメージパース

# 富山駅南北一体化で魅力と活気に満ちた拠点を形成

## JR 北陸本線等（連続立体交差事業）（富山県富山市）

## 富山ライトレール線（富山県富山市）

## 富山駅周辺地区土地区画整理事業（富山県富山市）

### 1. 事業の概要

#### 1) 目的

富山駅周辺地区では、北陸新幹線整備を契機に JR 北陸本線の連続立体交差事業、富山ライトレール線（路面電車整備）、土地区画整理事業、駅南北の一体化を支える都市計画道路整備、魅力溢れるまちのシンボルとなる駅前広場整備を総合的に行い、交通結節点の強化と駅南北の分断された市街地の一体化を行うと共に富山の玄関口としての魅力と活気に満ちた拠点形成を図るものです。

#### 2) 計画概要

- ・ 事業主体 JR 北陸本線等（連続立体交差事業）：富山県  
富山ライトレール線，富山駅周辺土地区画整理事業：富山市
- ・ 区 間 JR 北陸本線等：富山市 めいりんちやう あけほのちやう 明輪町～曙町  
富山ライトレール線：富山市 うしじまちやう えいらくちやう 牛島町～永楽町
- ・ 延長等 JR 北陸本線等：L = 約 2km  
富山ライトレール線：1,120m  
富山駅周辺土地区画整理事業：A=10.4ha

### 2. 事業の経緯

- 平成 15 年度 区画整理事業調査（富山駅周辺土地区画整理事業）
- 平成 16 年度 着工準備採択（JR 北陸本線等），区画整理促進調査（富山駅周辺土地区画整理事業）
- 平成 17 年度 事業着手（JR 北陸本線等，富山ライトレール線，富山駅周辺土地区画整理事業），完成供用予定（富山ライトレール線）

### 3. 平成 17 年度の事業内容

- ・ JR 北陸本線等：事業に着手し、富山港線などの支障移設費の負担及び調査・設計を行います。
- ・ 富山ライトレール線：富山駅北から奥田中学校前までの約 1.1 km について、道路上に単線軌道路盤や停留所を整備し、平成 18 年度当初の開業を目指します。
- ・ 富山駅周辺土地区画整理事業：新規に事業着手し、事業計画の作成などを行います。





# 高岡駅周辺整備に着手

- 高岡駅周辺地区交通結節点事業（富山県高岡市） -

## 1. 事業の概要

### 1) 目的

・当該事業は、高岡駅周辺地区がJR北陸本線等で南北に分断されていることから、南北自由通路、人工デッキ、駅前広場等を整備することにより公共交通機関乗換の効率化、駅南北の連絡を強化し、中心市街地の活性化を図るものです。

### 2) 計画概要

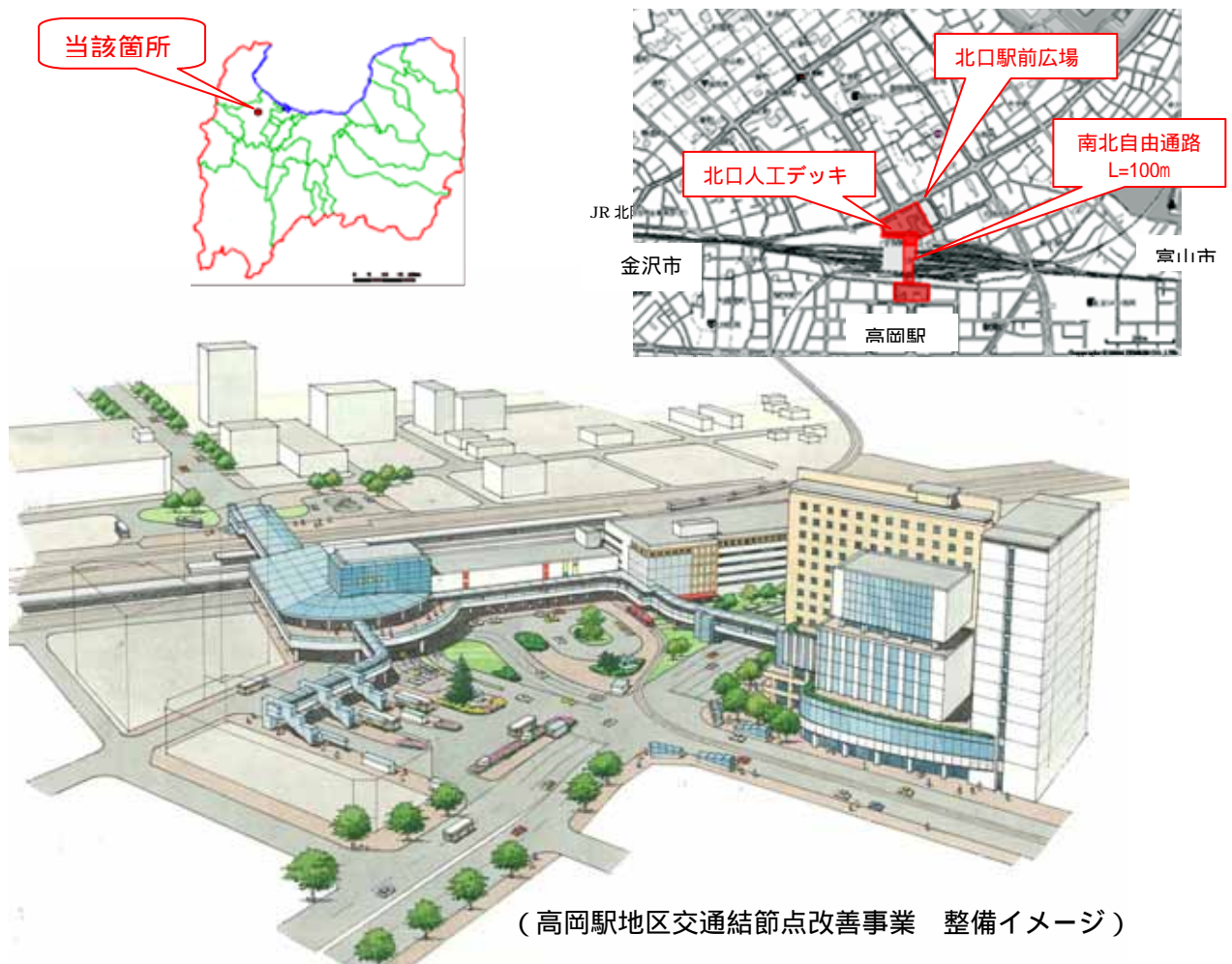
- ・事業主体 高岡市
- ・区間 高岡市<sup>しもがた</sup>下関
- ・延長等 高岡駅北口人工デッキ  
南北自由通路 L = 100m  
高岡駅佐加野線（北口駅広） A = 11,350m<sup>2</sup>
- ・延長 L = 1,120m

## 2. 事業の経緯

平成16年度 交通結節点改善事業地区採択、都市計画決定、事業認可

## 3. 平成17年度の実施内容

北口駅前広場、南北自由通路及び北口歩行者デッキの設計に着手します。



# 鈴見新庄線：全線供用

## ～都市計画道路 鈴見新庄線（涌波工区）を供用～

### 鈴見新庄線（涌波）（石川県金沢市）

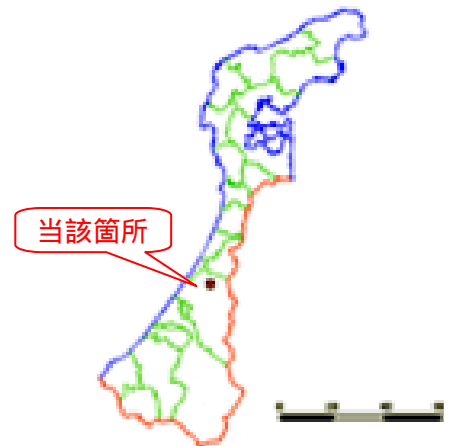
#### 1. 事業の概要

##### 1) 目的

当該区間は、地域高規格道路「金沢外環状道路」の山側幹線の一部を形成し、金沢市都心部の通過交通の排除と都心部への交通の分散導入を図り、金沢都市圏の慢性的な交通渋滞を解消するとともに、小立野台地により分断されている浅野川右岸と犀川左岸を連結し、市内東南部の均衡ある発展に寄与するめ道路整備を進めているものです。

##### 2) 計画概要

- ・事業主体 石川県
- ・区 間 金沢市<sup>たがみほんまち</sup>田上本町～同市<sup>おおくひまち</sup>大桑町
- ・延 長 約 1.3 km
- ・車 線 数 4車線
- ・事業期間 平成9年度～平成17年度



#### 2. 事業の経緯

- 平成8年8月 地域高規格道路の整備区間に指定
- 平成9年度 事業着手

#### 3. 平成17年度事業の内容

平成17年度は、涌波<sup>わくなみ</sup>トンネル及び前後の高架橋等の整備を推進し、供用を目指します。



涌波トンネルから犀川方向



浅野川方向から涌波トンネル方向



涌波トンネル

犀川

野田山

小立野台地

大桑高架橋

完成予想図



金沢外環状道路

海側幹線

山側幹線

鈴見新庄線（涌波）  
L=1.3km

# 東京税関新潟税関支署東港出張所

## - IT 国家の実現に視する官庁施設整備 -

### 1. 事業の概要

現在の庁舎は、平成11年に新潟県より新潟国際貿易ターミナルの一部を借用していましたが、近年、東港における外国貿易船の入港増加及び輸入通関処理件数の著しい増加に伴って年々職員が増員されてきており、現在の庁舎では非常に狭隘な状況です。また、現在まで税関検査業務に必要な税関専用の貨物検査場が整備されていなかったため、業務の遂行に著しい支障をきたしていました。これらを解消するため、今回、貨物検査場と併せて庁舎を新営するとともに、国際物流における行政手続きのシングルウィンドウ化、24時間フルオープン化を図るため、通関行政のIT化推進に対応した庁舎の整備を行います。

庁舎建設地は、新潟県東港工業地帯に位置し、今年度末に稼働する予定のコンテナ貨物大型X線検査場に隣接して建設する予定であり、これにより税関検査業務の一層の効率化と迅速化が図られます。また、IT化に対応した庁舎の整備を行うことにより、行政情報の適切な処理・管理・バックアップによる申請・届出等の諸手続きの効率化が図られ、国民の利便性向上が図られます。

### 2. 事業の経緯

平成16年度 設計・工事着手

平成17年度 工事完成予定

### 3. 平成17年度事業の内容

引き続き工事を推進し、平成17年度中の完成を目指します。

敷地面積 約14,290㎡(県有地)

構造・規模 S-2 約2,100㎡



東京税関新潟税関支署東港出張所完成予想図